

2012 年 3 月 5 日

島根大学長 殿

機関名・職名
 研究者名（代表者名）
 寧夏大学・島根大学国際共同研究所助理研究員
 蔵 志勇 ㊞

2011年度研究奨励助成 研究報告書

研究分野 (該当分野を○で囲んでください。)	1. 寧夏南部山区と日本の中山間地域の持続的可能な発展に関する研究 2. 生態系・環境の保護と再生に関する調査研究 ③. 農業経済と社会発展の比較に関する調査研究	
研究課題	農民工の「帰郷創業」による地域経済の振興に関する研究 —中国・寧夏の事例を中心に—	
研究者の連絡先		
実施期間	2011年 4月 ~ 2012年 3月	
研究の実績・成果の概要	<p>本研究では、中国・寧夏の農民工の「帰郷創業」による地域経済の振興に関して、社会学・統計学・経営学の原理を利用し、資料サーベイ・質問紙調査・データ処理の方法などで現地の起業者を対象とした多くの個別調査を実施し、以下の成果を得た。</p> <p>①彭陽県の労務輸出、起業の実態、出稼ぎの動機、創業への難点等について、県政府の労務管理職能部門のスタッフ8人へのヒアリングと、四つの郷(鎮)6集落の農民工「創業者」合計30人に質問紙調査を行った。</p> <p>②2011年9月14日~18日、10月7日~8日、ヒアリング調査・質問紙調査・研究対象区域の経済現状調査・資料サーベイなどを行った。</p> <p>③その後、中国西部地域経済全体における農民工の「創業」にかかわるマスコミ、育成政策、金融補助、教育(訓練)、サービス方式、協同組合組織と役割などについて解決すべき対策を提案した。</p> <p>④寧夏大学の研究者と島根大学の研究者との共同研究を一層推し進めた。</p> <p>⑤寧夏大学・資源環境学院の若手研究者(人文地理修士課程2年生)一名を研究グループに入れ、現地調査の補佐、資料サーベイのポイント、質問紙調査表のデザインなどを指導した。</p> <p>⑥中間研究成果として、2011年12月17日「2011年度寧夏大学中日国際学術セミナー」で口頭発表を行った。今後、「島根大学研究奨励補助基金」の名を加えて、研究成果を日本の学会誌に投稿する予定である。</p>	
経費内容		
区分	金額(単位:円)	備考
1. 雑費	0.00	
2. 消耗品費	0.00	
3. 通信運搬費	0.00	
4. 図書費	94,090.46	図書資料購入費
5. 福利厚生費	0.00	
6. 旅費交通費	31,029.89	調査旅費等
7. 報酬委託手数料	24,879.64	調査アンケート回答費等
合計	150,000.00	